

発北総第 25 号

平成 20 年 4 月 15 日

自治会長 様

北栄町長 松本昭夫

(公印省略)

自治会リーダー防災研修の開催について (依 頼)

日頃より自主防災につきましては、大変お世話になっております。

さて、本町では合併後国民保護計画、防災計画ができあがり本年度は防災無線も整備されるなか図上訓練、実働訓練を行ってまいります。

「災害は忘れたころにやってくる」「自助 7、共助 2、公助 1」だといわれております自助、共助を強化するためには、自主防災組織を整備し、機材を揃え、図上訓練、実働訓練を行い災害に備えなければなりません。

63 自治会の内約 10 余りの自治会で自主防災組織がつくられ 50 余りの自治会が未組織の状態でございます。

今回は未組織自治会を中心に自治会リーダー防災研修を下記のとおり開催いたしますので、自治会役員、リーダーとなられる方は是非参加いただきますようよろしくお願いいたします。

記

1, 日 時 平成 20 年 5 月 14 日 (水) 午後 7 時 30 分

2, 場 所 大栄農村環境改善センター多目的ホール

3, 講 師 自主防災活動アドバイザー
東伯消防署長 山田武津男氏
「自主防災について」

4, 申し込み連絡先

平成 20 年 5 月 9 日 (金) までに
北栄町役場 大栄庁舎
総務課 地域防災係
電話 37-3111

～自主防災組織を作りましょう～

“災害時は自分の身は自分で守る”

自助・・・7

- ・危機意識を家族で共有することが自助のスタートラインとなる
- ・平常時から十分なリスク認識が必要です
- ・ハザードマップで確認
- ・家族で安全な避難場所や連絡方法を話し合ったりしておく
- ・非常持ち出し品をすぐ手に出来る場所に用意したり

共助・・・2

- ・地域の共助で生き延びる
- ・自主防災組織の必要性

救出救護

初期消火

避難誘導・安否確認

情報収集・伝達

避難所運営

要援護者の支援

公助・・・1

- ・公的救助の出動には時間がかかります
- ・公共施設や職員も被災者になる可能性もある

(阪神淡路大震災の場合)

自助 67% 自力 34.9% 家族 31.9%

共助 31% 友人・隣人・通行人

公助 2% 救助隊・その他